

GAINA 宇宙の技術を暮らしのなかへ  
株式会社 日進産業 東京支店  
板橋区蓮根3-1-15 TEL:03-5916-4451

神話の国、島根「出雲・石見・隱岐」への案内人  
NDRIトラベラ  
株式会社NDRI  
ご相談は TEL:03-3770-4517

# だんだん雲南 第15号

発行者：芦田昭充 編集者：内田正明 写真撮影：竹部友久 印刷：(株)東京デザインセンター

雲南省東京ふるさと会会報  
発行日：2024年(令和6年)9月12日

エニシズク  
緑雪 蕎麦と看 南新宿店  
新宿駅「ミライナタワー」出口から徒歩4分  
TEL:050-3461-8968

この国の体力を強くする。  
ALPRON 株式会社 アルプロン  
雲南省加茂町加茂南加茂1204-1  
TEL:0854-49-8286

今年の首都圏は梅雨入りが遅く降水量も少なかったため、いつが梅雨だったのか記憶に残らないものとなりました。一方で早い時期から気温は上昇し高止まりで三十五度や三十六度では驚かなくなり、昔のような「穏やかな夕立」が欲しいなど感じていますが、皆さんいかがでしょうか。本紙「だんだん雲南第15号」では、七月に開催した「第八回交流会」の模様を中心、会員個別の活動状況や雲南省からのお知らせなどを報告します。

## 「初参加の市長まじで盛大に」

雲南省東京ふるさと会 第八回交流会

七月十三日（土曜）に第八回の交流会を開催しました。

東京は陽射しこそ弱いものの非常に蒸し暑い一日となりました。ましが、石飛市長に初めて参

加いただき、総勢で八十三名での催しとなりました。

まず「第一部」では大東町出身で福島県石川町の元町長加納武夫さんに「私的人生、東京へ出て七十年」と題して講演（3、4ページ）をお願

いしました。

「第二部」では当会芦田会長の挨拶の後、来賓の石飛市長や衆議院議員の亀井さん、県人会副会長（順天堂大学特任教授）の奥村さん、県東京事務所所長の大谷さんから祝辞をいただき、その他の来賓の皆さんについては事務局から紹介させていただきました。

そして、市議会議長の矢壁さんをはじめ、その前に「どうしても言つて置きたい事」の披露があり、その後待ちに待った「乾杯！」から交流懇親がスタートしました。

しばらく歓談の後、雲南省地域活性化企業人の梅澤さんから「雲南省からのお知らせ」と題して雲南省のホットな情報

を紹介いただきましたが、

抽選会へ。

既にアルコールが入り会話を

記しておきます。

懇親会(乾杯以降)司会  
堀江事務局長代理総合司会  
舟越事務局長●ふるさと近況報告●  
雲南省地域活性化企業人  
梅澤宏徳さん

早く飲みたいので、どうしても外せない項目のみ列記。  
ふるさと納税を!  
乾杯!

(編集者)

乾杯発声  
雲南省市議会議長  
矢壁正弘さん

▼雲南省市制施行二十周年記念ロゴマーク決定  
テレ東の「なんでも鑑定団」が八月四日に収録  
チエリバホールは昨年開館三十周年も、まだま  
だ健在  
▼トロッコ列車は終了も四月から観光列車「あめ  
つち」が運行  
三刀屋高校から初のプロ野球ドラフト指名者  
四百年の歴史を誇る大東七夕祭りが四年ぶりに  
開催  
▼地域課題を解決する人材育成計画「ソーシャ  
ルチャレンジバレー構想」を継続中  
子供+若者+大人+企業のチャレンジの連鎖で  
魅了ある街づくりに挑戦中  
▼高校生が開発した商品を東京で販売する例も...  
韓国酒専門酒蔵OMONA BARなどイターナ  
での起業例も...  
▼リモートワークが可能なスキル獲得支援プログ  
ラムを企画

飲み食いが忙しいので主要項目のみ列記。  
(編集者)



- おたのしみ抽選会  
特別賞品 提供者(五十音順)・提供品×数量
- ▼アルブロン様 プロテインドリンク×全員分
  - ▼石飛厚志様 田部竹下酒造製日本酒×1点
  - ▼NDRトラベル様 ギフト券×1点
  - ▼佐藤伸二様 水彩画(6号)×1点
  - ▼日進産業カニア様 自社製芋焼酎×2点
  - ▼三澤啓二様 Tシャツ×1点および仁多米(商品券)  
×1点
  - ▼吉木稔朗様 書籍(自著)×3点
  - ▼矢壁正弘様 雲南省プレミアムカタログ(ギフト券)  
×1点
  - ▼炉端かば(縁雪)様 食事券×2点

閉会挨拶  
陶山孝一副会長

- ▼会長 茹田昭充
- ▼副会長(会長代行) 奥田勲
- ▼副会長 陶山孝一
- ▼理事(事務局長) 舟越久
- ▼理事(事務局長代行) 堀江功
- ▼理事(事務局次長) 赤名忠
- 内田正明 竹部友久
- 福間偉津子
- 渡部一美
- 理事(会計) 渡部一美
- 理事 黒田康之 小林己久男
- 田中成芳 深田恭司 藤原厚司
- 藤本恵三 舟木展正
- 顧問 大田宣也 川本昭夫
- 最高顧問 難波明
- 会計監査 上代哲也 山根勝美子

### 雲南省東京ふるさと会役員(令和5~6年度 50音順)

事務局からのお知らせ  
★次回(第九回総会)は  
令和7年7月12日(土曜)に開催予定です。

雲南省吉田くん  
(雲南省公認キャラクター)

昨日は「石都々古和氣神社」に参拝した後石川城跡、遠藤果樹園など盛り沢山の行程を楽しみました。手厚くもてなししていただき、誠にありがとうございました。NDR秋本さんに感謝申し上げます。

(深田恭司記)

### 会員個別活動の紹介(石川町応援ツアーア)

昨年十月四~五日に四年ぶりに八回目の石川町応援ツアーバーを催行しました。

東京駅でバスに乗り常磐線で福島へ、勿来インターで降り小名浜港で昼食、いわき震災伝承みらい館、塩



(0854-40-1014)

十月十九日に、ふるさと島根定住財団主催の一しまね移住フェア&しまね暮らしまルシェin東京が開催され雲南省も参加します。当日は島根県への移住相談ブースや島根県の商品を販売するマルシェがお店し、石見神樂やしまねっこが登場するステージイベントも予定されています。

島根への移住を相談してみたい方、興味がある方はぜひお越しください。お知り合いの方への周知のご協力もよろしく。

開催日時: 令和6年10月19日(土) 十一時~十六時  
会場: 東京国際フォーラム(地上広場・ロビー・ギャラリー・ホールE2)  
問合せ: 雲南省うんなん暮らし推進課  
(0854-40-1014)

うんなん便り(雲南省からのお知らせ)



講演

元福島県石川町町長  
加納武夫さん

## 「私の人生“東京へ出て七十年”」

私は昭和十二年生まれで今年末には八十七歳になります。出身は大東・佐世の芹谷という加茂にも木次にも近い所で、ここで十八年間を過ごし大東高校の普通科を出ました。同級生には加茂の中島君、幡屋の勝部君といつた優秀な人がいましたが、私はあまり頭が良くなくて勉強も好きではありませんでした。私は六人兄弟の四番目で、父親が「お前には世話にならない」というので東京に出て就職しましたが本当は先生になりたかったのです。上京する時、出雲大東まで歩いて汽車に乗つたのですが、駅で母親が新聞紙かチリ紙の包みを渡してくれました。東京に出てから開けて見たら三百円ほどが入つていましたが、このお金は今でも金庫に入れて持つており、私の人生におけるお守りです。

就職先是機械関連の社員が五十人弱の会社で、神田に本社と営業所が、赤羽に工場があります。私は従業員が二十八人ほどの赤羽工場で、就職係として切粉運びなどで真っ黒になり、一日九時間働き休みは月に二回しかありませんでした。二年間そんな暮らしをしていた間に、こんな事をやつていたら田舎に帰れないと考えました。一年間そんな暮らしをしていました。赤羽駅から十五分ほどの所でスコア入りました。赤羽駅から十十五分ほどの所で赤羽工場には十八歳年上の工場長がおられ、そのお父さんが会長で、会長は私のことを番頭と呼んでかわいがつてくれました。午前中は工場で働き、午後は神田の本社で全社員の給与計算場で、社会保険の手続きなどの事務仕事をやつされ、技術職として営業に同行する事もありました。

ました。そうこうしているうちに赤羽工場ではもつたないないから本社に来て営業をやれといふ事になりましたが、そのきっかけはある客先の部長との出会いでした。私は昭和十二年生まれで今年末には八十七歳になります。出身は大東・佐世の芹谷といつた優秀な人がいましたが、私はあまり頭が良くなくて勉強も好きではありませんでした。私は六人兄弟の四番目で、父親が「お前には世話にならない」というので東京に出て就職しましたが本当は先生になりたかったのです。上京する時、出雲大東まで歩いて汽車に乗つたのですが、駅で母親が新聞紙かチリ紙の包みを渡してくれました。東京に出てから開けて見たら三百円ほどが入つていましたが、このお金は今でも金庫に入れて持つており、私の人生におけるお守りです。

就職先是機械関連の社員が五十人弱の会社で、神田に本社と営業所が、赤羽に工場があります。私は従業員が二十八人ほどの赤羽工場で、就職係として切粉運びなどで真っ黒になり、一日九時間働き休みは月に二回しかありませんでした。二年間そんな暮らしをしていた間に、こんな事をやつていたら田舎に帰れないと考えました。一年間そんな暮らしをしていました。赤羽駅から十十五分ほどの所でスコア入りました。赤羽駅から十十五分ほどの所で赤羽工場には十八歳年上の工場長がおられ、そのお父さんが会長で、会長は私のことを番頭と呼んでかわいがつてくれました。午前中は工場で働き、午後は神田の本社で全社員の給与計算場で、社会保険の手続きなどの事務仕事をやつされ、技術職として営業に同行する事もありました。

ました。そうこうしているうちに赤羽工場ではもつたないないから本社に来て営業をやれといふ事になりましたが、そのきっかけはある客先の部長との出会いでした。私は昭和十二年生まれで今年末には八十七歳になります。出身は大東・佐世の芹谷といつた優秀な人がいましたが、私はあまり頭が良くなくて勉強も好きではありませんでした。私は六人兄弟の四番目で、父親が「お前には世話にならない」というので東京に出て就職しましたが本当は先生になりたかったのです。上京する時、出雲大東まで歩いて汽車に乗つたのですが、駅で母親が新聞紙かチリ紙の包みを渡してくれました。東京に出てから開けて見たら三百円ほどが入つていましたが、このお金は今でも金庫に入れて持つており、私の人生におけるお守りです。

就職先是機械関連の社員が五十人弱の会社で、神田に本社と営業所が、赤羽に工場があります。私は従業員が二十八人ほどの赤羽工場で、就職係として切粉運びなどで真っ黒になり、一日九時間働き休みは月に二回しかありませんでした。二年間そんな暮らしをしていた間に、こんな事をやつていたら田舎に帰れないと考えました。一年間そんな暮らしをしていました。赤羽駅から十十五分ほどの所でスコア入りました。赤羽駅から十十五分ほどの所で赤羽工場には十八歳年上の工場長がおられ、そのお父さんが会長で、会長は私のことを番頭と呼んでかわいがつてくれました。午前中は工場で働き、午後は神田の本社で全社員の給与計算場で、社会保険の手続きなどの事務仕事をやつされ、技術職として営業に同行する事もありました。

(裏面に続く)



## 「私の人生“東京へ出て七十年”」

(3ページから続き)

結局これが縁で、翌日石川町で工場用地を購入する事になりました。最初百五十坪の土地を買い、そこには百坪の工場を建てようと考え設計を施工業者に相談した所、将来の事を考えればもつと大きい規模にすべきだと言わされました。が、金がない。そこで金を借りようとした金融公庫に行ったら「あなたには代表権がないから、この件は受けられない」と言われたので病院にいるおじいさん(元工場長)に相談しました。そしたら「ハンコを預けるからお前が全てやれ」と言わされたので、土地を三百坪まで買い増してそこに二百坪の工場を建てる事にしました。三十二歳の時で、それが福島県石川町とのなれそめです。その後、この工場は敷地を五千一百坪に増やし、従業員は現在百二十人ほどになつていています。が、その間おやじは入院したままで一度も福島には来ません。私は現在その会社の役員は辞め株のやりとりで、川中さんはA組では人々を、B組ではリア王の次女を演じておられ、「できればB組の回を観てください」とのこと。詳しい他についてはインターネット等で確認ください。(事務局記)

### 交流会スナップ写真(続き)



#### 出演

大石哲史	リア王
鈴木あかね	ゴネリル①/ 入々①
鈴木裕加	ゴネリル②/ 入々②
舞島理恵	リーガン③/ 入々③
川中裕子	リーガン④/ 入々④
小林ゆず子	コーディリア⑤/ 入々⑤
入江栄奈	コーディリア⑥/ 入々⑥
佐藤航之	ケント伯爵
富山直人	オールバニ公爵
北野雄一郎	コンウォール公爵
高野悠一	グロスター伯爵
舟貫史	エドガー
島田大昇	エドワード
舟木英美	オズワルド
金村信太郎	道化1
金村信彦	道化2
舟木美佐子	娘女
渡辺栄次	フランス王、兵士
吉田謙也	バーガンディ公爵、兵士
寺木理恵	使者、刺客
栗士	
野原孝	サクソフォン
佐々木大輔	コントラバス
森久美子	バッカッシュロン
船部貞理子	ピアノ①
入川貴	ピアノ②



▼公演期間・令和六年九月十三日(金)～九月二十三日(月)  
 ▼会場・吉祥寺シアター  
 祥寺本町1-33-22  
 ▼問合せ・オペラシアターへんにやく座  
 川崎市多摩区宿河原7-14-1  
 TEL..044-930-1720  
<https://www.konnyakuza.com/produce/>

こんにゃく座公演「オペラリア王」  
 本会会員で加茂町出身の川中裕子さんが所属しているオペラシアターへんにやく座の「オペラリア王」が現在公演中です。  
 もちろん川中さんも出演されています。  
 みなさんの機会にオペラ鑑賞はいかがでしょうか。なお本公演はA組とB組のダブルキャスト制で、川中さんはA組では人々を、B組ではリア王の次女を演じておられ、「できればB組の回を観てください」とのこと。  
 詳細その他についてはインターネット等で確認ください。(事務局記)

## 会員個別活動の紹介(その2)